

両郡橋南、新川東岸にある下之一色観音堂の石の十一面
 観音像。光背に刻まれた「卅三番」「みの谷ぐみ寺」の文字
 は、「こ」が西国三十三観音第三十三番札所、美濃谷汲山華嚴寺
 の写し霊場であることを示しています。この観音様、元は
 熱田新田三十三番割に祀られていた番割観音様なのです。
 尾張藩が造成し、慶安二年(一六四九年)竣功の熱田新田。
 その西国三十三観音に擬した三十三の区割に、それぞれ配さ
 れた観音様が番割観音様です。

この三十三番の観音様が、最初に祀られていた熱田新田三
 十三番割は、下之一色南東の現港区小碓町、庄内川明德橋の
 北あたりです。その観音様が何故、下之一色におられるので
 しょう。

謎を解く鍵は水害にありました。昔の庄内川筋は、今の
 新前田橋付近の中須村から助光へ南西に流れ、江松の東で折
 れて、ほぼ現新川に沿って下之一色の南へ下っていました。
 それが、明和四年(一七六七年)の洪水で、中須村から下之一
 色まで南北に分流が通ってしまいました。そこで翌年、この
 新しい河道を本流とし、旧河道を分流に付け替える工事が
 行われました。これが世に言う「瀬違い」です。このとき

三十三番割は、西の端が河川敷になりました。観音様は、この頃から安永五年（一七七六年）頃まで約九年の間、お世話する人もなく新庄内川河畔に放棄されていたようです。その観音様を下之一色にお連れしたのが、三十三番割に土地を持っていた下之一色中ノ切の善吉さんという人です。善吉さんは、まず観音様を自宅に安置。その後、中ノ切の皆さんで大榎の下に仮堂を建ててお祀りし、その時新調された台座に「安永五年」と刻まれました。なお、現在の観音堂は、さらに一一〇年後、明治維新二年前の慶応二年の建立です。

さて、熱田新田一番割から順に番割観音様を巡っていくと、今も観音様は全て健在で、十七堂に分祀されています。さらに驚くのは、港区明正の三十一番割観音堂にも三十三番十一面観音様がおられることです。何故でしょう。これが二つの謎です。

明正の三十三番の観音様の光背には、制作時期と思われる「天明二壬寅二月」の刻字があります。天明二年（一七八二年）は、「瀬違い」の十四年後ですが、注目したいのは、下之一色の観音様の台座新調から六年後という点です。これは、下之一色の同番の観音様の存在を知りつつ再刻された可能性

が高いことを意味します。だとしたら、何故この時期に再刻される必要があったのでしょうか。

これは、番割観音様の成り立ちと関係がありそうです。元々熱田新田は、観音様の御加護の下で水との戦いを制して完成したとされています。そのため、番割観音様は、熱田新田の水難守護仏とされ、「昔、庄内川はよく氾濫して観音様は何度も流されたが、移転や再刻がされてきた」という伝承があるほど大事にされてきました。さらに当時、庄内川は渡し舟の時代だったことも重要です。これは、地続きだった熱田新田と下之一色が「瀬違い」で隔てられたため、雨が降る肝心なときに船が出ず、熱田新田から三十三番観音様に水難除祈願に行けなくなったことを意味します。「瀬違い」後十四年、下之一色の仮堂安置から六年を経て、「下之一色に行けないときでも、三十三番の観音様をお参りしたい」という熱田新田の皆さんの思いが、下之一色の観音様の「分身」として、明正の三十三番観音像を彫らせたのではないのでしょうか。

参考 『観音堂由来記』後藤邦四郎著 名古屋市中川区下之一色町中之割観音講 一九六五年

「百曲街道と番割観音めぐり」はっけんたんけん中川区まちの魅力発信隊 二〇〇七年

『尾張徇行記』中須村、前田村の条

明正の三十三番観音様については、地元の方から聴き取ったお話を参考にしました。

『庄内川流域史』建設省中部地方建設局庄内川工事事務所 一九八二年

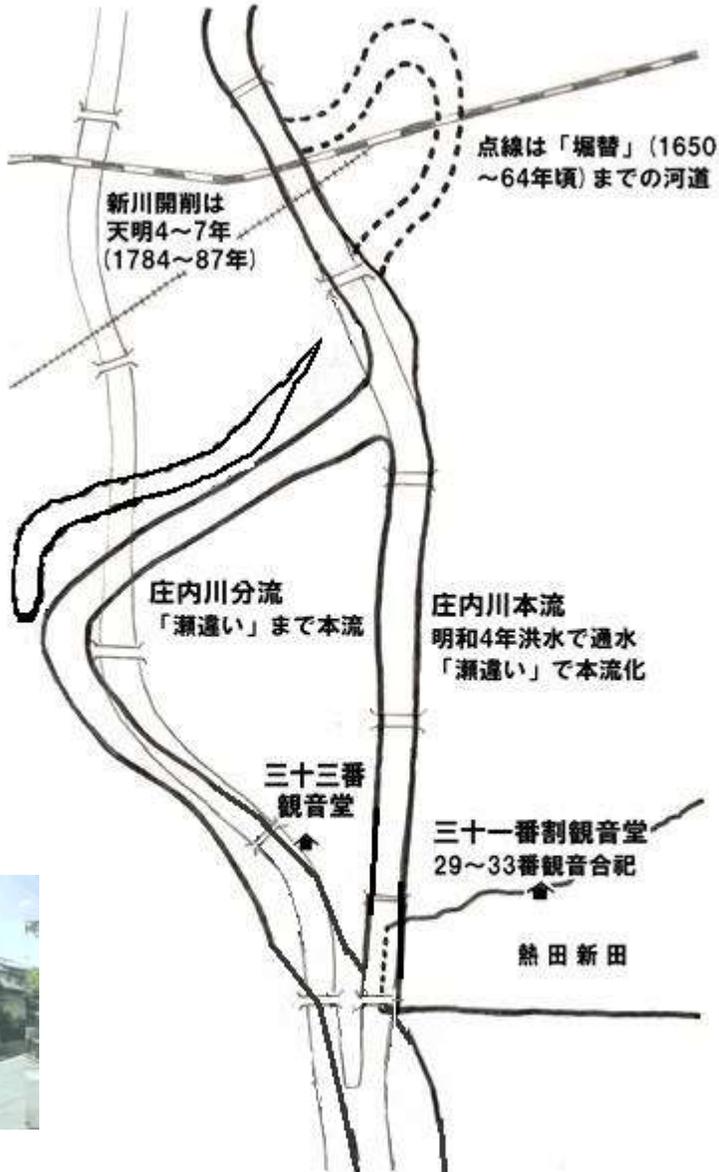
【経過】

- 慶安 2(1649) 熱田新田竣功
- 慶安 4(1651) 縄入検地⇒33 地割区分
- 慶安 7(1654) この頃に観音像配置

- 明和 4(1767) 洪水 下之一色東に庄内川分流
- 明和 5(1768) 「瀬違い」普請 分流が庄内川本流に
- 天明 9(1789) この頃三十一番割観音堂の他の観音像再刻
- 安永 5(1776) 三十三番十一面観音像下之一色に祀る？
台座刻字「安永五年」

- 安永 8(1779) 大洪水
- 天明 2(1782) 明正の三十三番十一面観音像再刻
光背刻字「天明二壬寅二月」

- 天明 4(1784) 天明の治水着工 新川開削
- 天明 7(1787) 天明の治水竣功



下之一色 三十三番観音堂と
十一面観音像
光背に「みの谷ぐみ寺」「世三番」



明正 三十一番割観音堂と
十一面観音像
光背に「天明二壬寅二月」

天明2(1782)年頃の庄内川河道想像図